

だい 17 かい さいぽろししやう たいかい  
第17回札幌市障がい者スポーツ大会（すすらんピック2017）

かくきやう ぎ しゅつじやうもうしこみしよ  
各競技出場申込書

しゅつ じやう もうし こみ よう りやう  
《 出 場 申 込 要 領 》

もくてき  
1. 目的

ほんたいかい しょう しゃ つう たいりよく い じ ぞうしん きのうかいふく はか  
本大会は、障がい者がスポーツを通じて体力の維持、増進、機能回復を図り  
この大会に参加し、競技等を通じスポーツの楽しさを体験するとともに、市民  
の障がい者に対する理解を深め、障がい者の社会参加を推進させることを目  
的とする。

たいかいかいさいび  
2. 大会開催日

へいせい ねん がつ にち にち がつ にち にち  
平成29年5月14日（日）～6月4日（日）

しょうさい じ べつびやう さんしやう  
※詳細については、次ページ別表を参照。

かいじやう  
3. 会場

さいぽろしまるやまりくじやうきやうぎじやう ちゆうおうくみやがおか ぼんち かいじやう  
札幌市円山陸上競技場（中央区宮ヶ丘3番地）ほか4会場

しょうさい じ べつびやう さんしやう  
※詳細については、次ページ別表を参照。

もうしこみしめきりきげん へいせい ねん がつ にち げつ ひつちやく  
申込締切期限 平成29年4月17日（月）必着

きげん す もうしこ ちゆういくだ  
※期限を過ぎますと申込みができませんのでご注意ください

もうしこみ といあわ さき  
【申込・問合せ先】

いっぱんしやだんほうじんさいぽろししやう しゃ きやうかい  
一般社団法人札幌市障がい者スポーツ協会

〒063-0802

にしくにじゆうよんけん じやう ちやうめ  
西区二十四軒2条6丁目1-1

さいぽろしんたいしょうがいしやふくし ない  
札幌市身体障害者福祉センター内

TEL 612-1184

FAX 641-8966

きょうぎについて  
○すずらんピック2017競技日程

開催期日	競技種目	会場
5月14日 (日)	アーチェリー	札幌市東区体育館（東区北27条東14丁目）
5月21日 (日)	卓球	札幌市身体障害者福祉センター（西区二十四軒2条6丁目） ※知的・身体障がいの部合同開催
5月28日 (日)	水泳	札幌市平岸プール（豊平区平岸5条14丁目） ※知的・身体障がいの部合同開催
6月4日 (日)	陸上	札幌市円山陸上競技場（中央区宮ヶ丘3番地） ※知的・身体障がいの部合同開催
	フライングディスク	つどーむ（東区栄町885番地1） ※知的・身体障がいの部合同開催

4. 競技種目及び障がい区分

- 陸上競技、水泳競技、アーチェリー競技、卓球競技、フライングディスク競技
- 障がい区分により出場できる競技種目は、〈別表1〉と〈別表2〉のとおりになります。
- 競技は、障がい区分別、男女別、年齢別（1部は39歳以下、2部は40歳以上）に分けて行います。（年齢は平成29年4月1日現在）

5. 競技別時間割

(1) 卓球競技

選手受付開始	9:15 - 9:45
選手役員整列開始	9:50 - 9:59
開会式	10:00 - 10:10
競技開始（午前の部）	10:20 -
	（年齢区分毎、終了後表彰式）
競技開始（午後の部）	13:20 -
	（オープン競技、終了後表彰式）
閉会式	16:00 -

※選手受付開始の時間前に、会場に入ることにはできませんので、ご了承願います。

## (2) フライングディスク 競技

選手受付開始	9:00 - 9:40
選手役員整列開始	9:50 - 9:59
開 会 式	10:00 - 10:20
競技開始 (午前の部)	10:30 - (アキュラシー)
競技開始 (午後の部)	13:00 - (ディスタンス)
閉 会 式	15:30 - 16:00

※選手受付開始の時間前に、会場に入ることはできませんので、ご了承ください。  
承 願 います。

## (3) 水 泳 競 技

選手受付開始	9:00 - 9:45
	(ウォーミングアップ45分まで)
選手役員整列開始	9:55 - 10:00
開 会 式	10:00 - 10:10
競 技 開 始	10:10 -
競 技 終 了	14:00 (表彰は随時実施)
閉 会 式	(全競技終了後ただちに実施)

※選手受付開始の時間前に、会場に入ることはできませんので、ご了承ください。  
承 願 います。

## (4) 陸 上 競 技

選手受付開始	8:00 - 8:40
選手役員整列開始	8:50 - 8:59
開 会 式	9:00 - 9:20
競技開始 (午前の部)	9:45 - 12:00
	(表彰は随時実施)
競技開始 (午後の部)	13:00 - 15:40
	(表彰は随時実施)
閉 会 式	15:40 - 16:00

※午前の部競技終了後、午後の部競技開始までの間にオープン競技  
を実施する予定です。(自由参加)

※選手受付開始の時間前に、会場に入ることはできませんので、ご了承ください。  
承 願 います。

(5) **アーチェリー競技**

選手受付開始	9:30 - 9:40
選手役員整列開始	9:40 - 9:45
開会式	9:45 - 9:55
競技開始	10:00 - (弓具検査)
競技終了	14:00
表彰・閉会式	(競技終了後実施)

**※選手受付開始の時間前に、会場に入ることにはできませんので、ご了承ください。**  
**承願います。**

6. **参加者及び出場資格**

- (1) 平成29年4月1日現在、13歳以上の方。
- (2) 身体障害者手帳の交付を受けている方。
- (3) 札幌市内に現住所（住民票のある地）を有する方、または市内の施設や学校等に入所及び通所並びに通学している方。

**※参加資格をお持ちの方は、どなたでも参加できますので奮ってご応募下さい。**

7. **参加申込方法及び申込期限**

- (1) 陸上競技、卓球競技、アーチェリー競技、フライングディスク競技の出場希望者は、別紙出場申込書、また、水泳競技の出場希望者は、別紙出場申込書と個人票、介助が必要な方は、介助申請書に必要事項を記入し、申込先へ郵送または持参して下さい。

**※FAXでの申込みはできません。**

- (2) **申込期限**

**平成29年4月17日（月）必着**

**※期限を過ぎますと申込みできませんのでご注意ください。**

- (3) 申込締切後の出場希望種目の変更は認められませんのでご注意ください。

8. **競技規則**

各競技規則及び全国障害者スポーツ大会競技規則を適用します。

9. **表彰**

1位から3位までに入賞した選手に対し入賞メダルを授与する。また、入賞者以外に敢闘メダルを授与する。

## 10. 健康・安全管理

大会参加にあたっては、自己の責任において健康及び安全に十分留意すること。  
なお、主催者においては、参加者を対象に傷害保険に一括加入し、応急の処  
置を行う。

## 11. 参加料 無料

## 12. その他

参加選手及び付添者等の昼食弁当の斡旋は行いませんので、各自で用意して  
下さい。

会場の駐車場スペースには限りがありますので、会場までは、公共交通機  
関のご利用をお願いいたします。

## ○申込書の記入、大会参加にあたって

### (1) 卓球競技

①競技に必要なゼッケン、プログラムは、当日受付時にお渡しします。

②卓球競技の種目は、下記のとおりになります。

午前の部 一般卓球、サウンドテーブルテニス  
(障がい区分別に試合を行います)

午後の部 オープン競技

※午後の部、オープン競技希望者は、必ず参加、不参加を記入して下さい。

※一般卓球、オープン競技の対戦相手は受付時にフリー抽選し、競技は、

知的・身体合同でトーナメント戦を行います。

③出場申込書の記入欄には、未記入のないように記入し、提出して下さい。

### (2) フライングディスク競技

①フライングディスク競技は、2種目に出場することができます。

②フライングディスク競技の種目は、アキュラシー競技(標的に円盤を通す

競技〈5m・7m〉)、ディスタンス(飛距離を競う競技)になります。

③出場申込書の記入欄には、未記入のないように記入し、提出して下さい。

④出場決定のお知らせと競技に必要なゼッケン、プログラムは、後日大会事  
務局より送付します。(大会1週間前を予定しています。)

(3) 水泳競技

①水泳競技は2種目に出場することができます。(25mを完泳できる者。)

②水泳競技の種目は、下記の順番で行う予定です。

25m自由形(①)、25m背泳ぎ(②)、25m平泳ぎ(③)、25mバタフライ(④)、50mバタフライ(⑤)、50m平泳ぎ(⑥)、50m背泳ぎ(⑦)、50m自由形(⑧)

※カッコ内の数字は、競技順番になります。

③競技に必要なプログラムは、当日受付時にお渡しします。

④出場申込書と個人票の記入欄には、未記入のないように記入し、両方を提出して下さい。(自己記録は必ずご記入下さい。)なお、介助が必要な方は、介助申請書も提出して下さい。

⑤プール内での写真・ビデオの撮影は禁止です。

⑥介助申請者以外の方は、プール内に入場できません。

⑦介助申請者の方は、選手誘導をお願いします。

(4) 陸上競技

①陸上競技は、2種目に出場することができます。

②陸上競技のトラック種目は、下記の順番で行う予定です。

午前：800m(①)、400m(②)、200m(③)、100m(④)、50m(⑤)

午後：スラローム(①)、200m(②)、400m(③)、800m(④)、1500(⑤)

※カッコ内の数字は、競技順番になります。

③障がい区分、24、25の方は、50mと100mの両方には申込み出来ません。(伴走者が必要な方は、自分で確保すること。)

④車いす競技で、100m以上のトラック種目に出場する場合は、必ずヘルメットを着用すること。また、800m以上のトラック種目に出場する場合は競技用車椅子(レーサー)を使用しなければならない。

⑤跳躍競技で立幅跳と走幅跳の両方に申込みは出来ません。

⑥投てき競技でソフトボール投とジャベリックスローの両方に申込みは出来ません。

⑦出場申込書の記入欄には、未記入のないように記入し、提出して下さい。

⑧出場決定のお知らせと競技に必要なゼッケン、プログラムは、後日大会事務局より送付します。(大会1週間前を予定しています。)

⑨大会当日は、地下鉄円山公園駅から円山陸上競技場へシャトルバスを運行します。(地下鉄円山公園駅横ケンタッキー前(環状通側)、7時15分から8時30分までの間、15分間隔で運行する予定)

(5) **アーチェリー** きょうぎ **競技**

- ① きょうぎ **競技**に必要ひつようなゼッケン、プログラムは、当日受付け時とうじつうけつけじにお渡しわたします。
- ② **出場** しゅつじょう **申込書** もうしこみしょの記入欄きにゅうらんには、未記入みきにゅうのないように記入きにゅうし、提出ていしゅつして下さい。くだ
- ③ **アーチェリー** きょうぎ **競技** しゅもくの種目しゅもくは、30mダブルラウンドのみになります。

(6) **その他** た

- ① **出場者** しゅつじょうしゃの組合せ等くみあわは、各種目別かくしゅもくべつに申込者もうしこみしゃの性別せいべつ、障がい区分しょうがいくぶん、年齢等ねんれいとうにより大会事務局たいかいじむきょくで行おこないます。
- ② **申込人数** もうしこみにんずうによっては、**競技時間** きょうぎじかん、**会場** かいじょうの都合つごうにより種目等しゅもくとうの変更へんこうや調整ちようせいを行おこなう場合がありますので、あらかじめりょうしょうねがご了承りょうしょうねが願ねがいます。
- ③ **服装** ふくそうは、**競技** きょうぎに適てきしたものを着用ちやくようして下さい。くだ
- ④ **当日** とうじつは、選手受付け開始せんしゅうけつけかいしの時間前じかんまえに、**会場** かいじょうに入はいることはできませんので、ご了承りょうしょうくだ下さい。りょうしょうくだ
- ⑤ **同日** どうじつに開催かいさいしていない他の**競技** ほかにきょうぎには出しゅつじょう場じょうすることがありますので、奮ふるってご参加さんかくだ下さい。さんかくだ
- ⑥ **札幌市障がい者** さっぽろししょうがいしゃ **スポーツ協会** きょうかいのホームページから、**出場** しゅつじょう **申込書** もうしこみしょ等のダウ  
ンロードができますのでご活用かつようくだ下さい。かつようくだ
- ⑦ **出場** しゅつじょう **申込書** もうしこみしょ等が不足ふそくした場合は、コピーしたものを使用ばあいして下さい。しようくだ
- ⑧ **個人情報** こじんじょうほうについては、本大会以外ほんたいがいの目的もくてきで使用しよういたしません。また、**競技** きょうぎ  
中ちゆうに撮影さつえいした写真しやしんを機関紙等きかんしとうに掲載けいさいすることがありますのでご了承りょうしょうくだ下さい。りょうしょうくだ

《別表1》札幌市障がい者スポーツ大会競技・種目等(全国障害者スポーツ大会の障がい区分表を準用)

1. 陸 上

◎男女別・年齢区分別 △男女混合・年齢区分なし ▲男女別・年齢区分なし

			競 走							跳 躍			投てき						
			50m	100m	200m	400m	800m	1500m	スラローム	4×100mリレー	走高跳	立幅跳	走幅跳	砲丸投	ソフトボール投	ジャベリックスロー	ビーコンバグ投		
肢体不自由	1	上肢	1	手部切断 片前腕切断 片上肢不完全 片上腕切断 片上肢完全	◎	◎				※4			◎	◎	◎	◎	◎		
			2	両前腕切断、片前腕・片上腕切断 両上肢不完全	◎	◎				◎		▲	◎	◎					
			3	両上腕切断 両上肢完全	◎	◎						▲	◎	◎					
		下肢	4	片下腿切断 片下肢不完全	◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎		
			5	片大腿切断 片下肢完全	◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎		
			6	両下腿切断	◎	◎							◎		◎	◎	◎		
			7	片下腿・片大腿切断 両下肢不完全	◎								◎		◎	◎	◎		
			8	両大腿切断、両下肢完全											◎	◎	◎		
	2	車椅子使用以外で	9	体幹	◎	◎						◎	◎	◎	◎	◎			
			10	第6頸髄まで残存	◎	◎				◎								◎	
			11	第7頸髄まで残存		※4	※4		※4	※4	◎								◎
			12	第8頸髄まで残存		◎	◎		◎	◎	◎				◎	◎	◎		
			13	下肢麻痺で座位バランスなし		◎	◎		◎						◎	◎	◎		
			14	下肢麻痺で座位バランスあり		※4	※4		※4	◎					◎	◎	◎		
		15	その他車椅子		◎	◎		◎	◎					◎	◎	◎			
	3	(脳性脳原性麻痺、脳血管疾患、脳外傷等)	16	四肢麻痺で車椅子使用	◎					◎								◎	
			17	けって移動	◎					◎								◎	
			18	片上下肢で車椅子使用	◎					◎						◎	◎		
			19	上肢で車椅子使用	◎	◎	◎		◎	◎	◎				◎	◎	◎		
			20	その他走不能											◎	◎	◎		
			21	上肢に不随意運動を伴う走可能	◎	◎	◎			◎			◎	◎	◎	◎	◎		
			22	その他走可能	◎	◎	◎			◎			◎	◎	◎	◎	◎		
	4	23	電動車椅子使用						◎								◎		
視覚障害	24	視力0から光覚弁まで	◎	◎	◎		◎	◎				◎	◎	◎	◎				
	25	視力手動弁から0.03まで 視野5度以内	◎	◎	◎		◎	◎				◎	◎	◎	◎				
	26	その他	◎	◎	◎		◎	◎			▲	◎	◎	◎	◎				
聴覚・平衡機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害	27	聴覚障害	◎	◎	◎		◎	◎			▲	◎	◎	◎	◎				
知的障害	28	知的障害	◎	◎	◎	◎	◎	◎		△	▲	◎	◎		◎	◎			
内部障害	29	ぼうこう又は直腸機能障害	◎					◎				◎	◎		◎	◎			

※1 4×100mリレーは男女混合とする。

※2 50m競走で使用する車椅子は日常生活用とする。

※3 体幹とは頸部、胸部、腹部及び腰部(脊柱)のみに変形がある者(脊柱カリエス等による体幹の障害が該当する。)

※4 複数の障害区分にわたり1つの◎がついている場合は、一つの区分として競技をおこない、順位を決定する。

[注] 四肢の機能障害を伴う場合は体幹の機能障害があってもこの区分には該当しない。

## 2. 水 泳

◎男女別・年齢区分別 ○男女別・1部 ●男女別・2部  
△男女混合・年齢区分なし

			自由形		背泳ぎ		平泳ぎ		バタフライ			
			2 5 m	5 0 m	2 5 m	5 0 m	2 5 m	5 0 m	2 5 m	5 0 m		
肢体不自由	1	上肢	1	手部切断	◎	◎	●	○	●	○	●	○
			2	片前腕切断、片上肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○
			3	片上腕切断、片上肢完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○
			4	両前腕切断、両上肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○
		5	両上腕切断、両上肢完全 片前腕・片上腕切断	◎	◎	●	○	●	○	●	○	
	下肢	6	片下腿切断、片下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○	
		7	片大腿切断、片下肢完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○	
		8	両下腿切断、両下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○	
	上下肢	9	両大腿切断、両下肢完全 片下腿・片大腿切断	◎	◎	●	○	●	○	◎		
		10	片上肢切断・片下肢切断 片上肢不完全・片下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	◎		
	体幹	11	多肢切断、片上肢完全・片下肢完全 両上肢不完全・両下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	◎		
		12	体幹	◎	◎	●	○	●	○	●	○	
2	脳原性麻痺以外の 車椅子使用	13	第7頸髄まで残存	◎	◎	◎		◎				
		14	第8頸髄まで残存	◎	◎	●	○	●	○	●	○	
		15	下肢麻痺で座位バランスなし	◎	◎	●	○	●	○	●	○	
		16	下肢麻痺で座位バランスあり	◎	◎	●	○	●	○	●	○	
3	脳原性麻痺	17	四肢麻痺（車椅子常用） 上肢に著しい不随意運動を伴う走不能	◎	◎	◎		◎				
		18	両下肢麻痺 上肢に軽度の不随意運動を伴う走不能	◎	◎	●	○	●	○	●	○	
		19	片側障害で片上肢機能全廃	◎	◎	●	○	●	○	◎		
		20	その他の片側障害で走不能	◎	◎	●	○	●	○	●	○	
		21	その他	◎	◎	●	○	●	○	●	○	
4	22	浮具使用	◎	◎	◎		◎					
視覚障害	23	視力0から光覚弁まで	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
	24	視力手動弁から0.03まで 視野5度以内	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
	25	その他の視覚障害	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
聴覚・平衡機能障害、音声・言語・そしやく機能障害	知的障害	26	聴覚障害	◎	◎	●	○	●	○	●	○	
		27	知的障害	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	

※ 障害区分のスタートは、水中スタートをしなくてはならない。

## 3. アーチェリー

◎男女別、年齢区分別 ●男女別

		No.	障害区分	リカーブ 30・30m	コンパウンド 30・30m
肢体不自由	脳原性麻痺以外 で車椅子常用	1	第8頸髄まで残存	◎	●
		2	その他の車いす	◎	
	切断・機能障害	3	上肢障害	◎	
		4	下肢障害 (椅子、車椅子使用を含む)	◎	
		5	体幹	◎	●
	脳原性麻痺	6	脳原性麻痺	◎	
聴覚・平衡機能障害、音声・言語・そしやく機能障害	7	聴覚障害	◎		
内部障害	8	ぼうこう又は直腸機能障害	◎		

## 5. フライングディスク

◎区分なし ●男女別

	アキュラシー		ディスタンス	
	ディスリート5	ディスリート7	座 位	立 位
肢体不自由				
視覚障害				
聴覚障害	◎	◎	●	●
知的障害				
内部障害 (ぼうこう又は直腸機能障害)				

## 4. 卓 球

◎男女別、年齢区分別

			No.	障害区分	卓球	STT
肢体不自由	1	上肢障害	1	片上肢障害	◎	
			2	両上肢障害	◎	
		下肢障害	3	片下腿切断または、片下肢不完全	◎	
			4	片大腿切断、両下腿切断 片下肢完全、両下肢不完全	◎	
			5	片下腿・片大腿切断 両大腿切断、両下肢完全	◎	
			6	体幹	◎	
	2	脳原性麻痺以外 で車椅子使用者	7	第8頸髄まで残存	◎	
			8	座位バランスなし	◎	
			9	その他	◎	
			10	車いす使用	◎	
		脳原性麻痺	11	杖・松葉杖使用	◎	
			12	上肢に不随意運動あり	◎	
			13	上肢に不随意運動なし	◎	
			14	片側障害	◎	
視覚障害	15	視力0から0.03まで 視野5度以内		◎		
	16	その他の視覚障害	◎			
聴覚・平衡機能障害、音声・言語 機能障害・そしやく機能障害	知的障害	17	聴覚障害	◎		
		18	知的障害	◎		

## 《別表2》障害区分の解説

### ■肢体不自由1

			障害区分名	解説	
切断、 機能障害	立位	上肢	切断	手部	片側および両側の手部切断
				片前腕	手関節の離断を含む片側の前腕の切断者
				片上腕	肘関節の離断を含む片側の上腕の切断者
				両前腕	両側手関節離断を含む両側の前腕の切断者
				両上腕	両上腕の切断者
				片前腕および片上腕	片前腕の切断及び片上腕の切断者
			機能障害	片上肢不完全	片側の肩・肘・手関節のうち一または二関節に機能障害がある者
				片上肢完全	片側の肩・肘・手関節のすべてに機能障害がある者
		両上肢不完全		両側の肩・肘・手関節のうち一または二関節に機能障害がある者	
		両上肢完全		両側の肩・肘・手関節のすべてに機能障害がある者	
		下肢	切断	片下腿	片足部の切断を含む片下腿の切断者
				片大腿	膝関節の離断を含む片大腿の切断者
				両下腿	両側の下腿の切断者
				両大腿	両側の大腿の切断者
				片下腿および片大腿	片下腿の切断及び片大腿の切断者
			機能障害	片下肢不完全	片側の股・膝・足関節のうち一または二関節に機能障害がある者
				片下肢完全	片側の股・膝・足関節のすべてに機能障害がある者
				両下肢不完全	両側の股・膝・足関節のうち一または二関節に機能障害がある者
		上下肢	切断	片上肢および片下肢	片上肢の切断及び片下肢の切断者
				多肢切断	三肢以上の切断者
			機能障害	片上肢不完全および片下肢不完全	片上肢不完全及び片下肢不完全の者
				片上肢完全および片下肢完全	片上肢完全及び片下肢完全の者
		体幹	体幹	頸部・胸部・腹部及び腰部(脊柱)のみに変形がある者(脊椎カリエス等による体幹の障害が該当する)【注1】	

【注1】四肢の機能障害を伴う場合は体幹の機能障害があってもこの区分には該当しない

### ■肢体不自由2

脊髄損傷等	陸上競技	脳原性麻痺以外で車椅子常用または使用	第6頸髄まで残存	肩関節周囲の筋力はほぼ正常な四肢麻痺者(肘関節の屈曲と手関節の背屈は正常)
			第7頸髄まで残存	肩関節周囲と肘関節周囲の筋力がほぼ正常な四肢麻痺者(肩関節と肘関節、手関節の背屈と掌屈が正常だが、物がにぎれない)
			第8頸髄まで残存	肩関節周囲と肘関節周囲と手関節周囲の筋力はほぼ正常で指の曲げ伸ばしも可能な四肢麻痺者(把持能力はあるが、指を強く開いたり閉じたりできない)
			下肢麻痺で座位バランスなし	【注2】
			下肢麻痺で座位バランスあり	
	その他の車いす	脳原性麻痺や脊髄麻痺以外の車椅子使用者(例:両下肢切断のため車いすを使用し競技する者)		
	水泳競技	脊髄損傷等(脊髄損傷や脊髄腫瘍等脊髄疾患、ポリオ、ギランバレーなどの疾患により対麻痺や四肢麻痺相当である場合はこの区分になる。切断や奇形、脳性麻痺による場合はそれぞれの該当区分の適応になる)	第7頸髄まで残存	肩関節周囲と肘関節周囲の筋力がほぼ正常な四肢麻痺者(肩関節と肘関節、手関節の背屈と掌屈が正常だが、物がにぎれない)
			第8頸髄まで残存	肩関節周囲と肘関節周囲と手関節周囲の筋力はほぼ正常で指の曲げ伸ばしも可能な四肢麻痺者(把持能力はあるが、指を強く開いたり閉じたりできない)
			下肢麻痺で座位バランスなし	【注2】
			下肢麻痺で座位バランスあり	座位バランスのある脊髄損傷者等【注3】

【注2】「座位バランス」の判定は、「へそ」の位置の知覚レベルの有無が一つの判断基準となり、背もたれのない座位の状態でも両手の支えなく座ることができる場合は「座位バランスあり」と判断する

【注3】(水泳)下肢の切断や欠損等による車いす使用者は、「座位バランスあり」に区分せず切断の区分を適用すること

### ■ 肢体不自由3

		障害区分名	解説	
脳原性麻痺（脳性麻痺、脳血管疾患、脳外傷等）	陸上競技	車いす	四肢麻痺で車いす使用	四肢に著しい可動域制限や協調運動障害がある者で両上肢駆動による車いす使用者
			けって移動	両上肢の障害が重度のため両下肢または片下肢で車いすを駆動させる者
			上下肢で車いす使用	日常動作において片側の upper limb と下肢で車いすを操作する者
		上肢で車いす使用	上肢による車いす使用者【注4】	
		立位	その他走不能	杖や下肢装具の使用の有無に関わらず、走ることでできない者
			上肢に不随意運動を伴う走可能	目的動作に障害のある上肢協調運動障害があるが、走ることが可能な者
	その他走可能		【注5】	
	水泳競技	四肢麻痺（車いす常用）		四肢に著しい可動域制限や麻痺等の障害がある者で上肢駆動による車いす使用者
		上肢に著しい不随意運動を伴う走不能		意図的な動作に障害がある等の上肢の協調運動障害があり、走ることが不可能な者
		両下肢麻痺		両下肢に著しい可動域制限や麻痺等の障害がある者（車いすや杖、松葉杖などを使用していることが多い）
		上肢に軽度の不随意運動を伴う走不能		上肢の協調運動障害が軽度な者で、走ることが不可能な者
		片側障害で片上肢機能全廃		片側障害で患側上肢でストローク動作ができない者
		その他の片側障害で走不能		片側障害で患側上肢でもストローク動作が可能だが、走ることが不可能な者
		その他		上肢の協調運動障害が軽度で走ることが可能な者や、片側障害で走可能な者等、上記区分に該当しない者
	卓球競技	車いす	車いす使用	車いすを使用して競技をするすべての脳原性麻痺者
			杖または松葉杖使用	杖や松葉杖などを使用して競技をする者
		立位	上肢に不随意運動あり	意図的な動作に障害がある等の上肢の協調運動障害がある者
			上肢に不随意運動なし	上肢の協調運動障害のない立位者
			片側障害	片側の上下肢に可動域制限や麻痺等の障害があるが、杖や松葉杖等を使用して競技をしない者
	その他	電動車いす常用（陸上）	四肢体幹機能障害等により日常生活で常に電動車いすを使用している者	
浮具使用（水泳）		重度の四肢体幹障害のあるもので、浮具を使用する者		

【注4】ハンドリムを瞬時に把持したり、ハンドリムをプッシュする際に肘関節を完全に伸展させることができるものはこの区分に該当する

【注5】「上肢に不随意運動を伴う走可能」に該当しない走可能な者すべてがこの区分に該当する

### ■ 視覚障害

視覚障害	視力0から光覚弁まで	【注6】
	視力手動弁から0.03まで 視野5度以内	
	その他の視覚障害	

【注6】視力は、両眼の和でなく、矯正後の良い方の目の視力で判定する

### ■ 聴覚・平衡機能障害、音声・言語機能障害、そしやく機能障害

聴覚・平衡機能障害、 音声・言語機能障害	聴覚障害	区分しない
-------------------------	------	-------

### ■ 知的障害

知的障害	知的障害	区分しない
------	------	-------

### ■ 内部障害

内部障害	ぼうこう又は直腸機能障害	脊髄損傷等で合併したぼうこう又は直腸機能障害者は含まない
------	--------------	------------------------------